

レッツゴー通信 せぬま 剛 友情に感謝

平成31年3月 ゆるぎない信頼と自信・平和立国日本

平成三十一年五月一日新元号を迎えるにあたり

三十年前私達は小渕恵三氏の掲げる「平成」と書いた、新元号をテレビで見て、平成という時代が始まるのだなと知りました。

まだバブル崩壊のツメ跡が残り、昭和六十四年に入っただけで一月七日平成元年は混乱の年でした。足立区は庁舎を千住から現在地の中央本町に移転するか、しないかでおおもめしていたものでした。そして現在の地に庁舎が開設したのが平成八年のことです。同時に地域の施設として住区センターを続々建設して、四十三館の目標を今では超えました。現在、区では花畑・竹の塚・六町・江北・綾瀬・西新井・梅島・千住と各地を総合的に開発する計画を立て、未来に向けて検討しております。

一部は実現しつつあります。いよいよ新しい天皇陛下はご即位されます。変らぬ平和国家のもとで、良い国日本、希望ある足立区を目指して参りたく皆で、お喜び申し上げます。



○ 学校統廃合に思う 足立の現状とこれから
今増えている足立の人口も少子化に抗しえず、減ってゆきます。どんな学校も思い出があり、歴史があり、町の中心であり、廃止等考えられません。しかし、現実の社会は経済によって動きます。納得出来ない中に今までの学校統廃合は進みました。跡地利用が地元にとって必要で、ふれあいの施設でなければならない。防災拠点としての複合的な使用目的を目に見える企画を示しなさい。

○ 開学ラッシュの足立区・留学生対策を思う
大学がどんどん出ています。日本の学生に他に留学生も来ます。彼らは渡航費行き帰り日本が毎月日本が援助します。日本人は奨学金で返すのにですよ。そんな留学生が、万引や一人部屋に何人も住む等の悪さをします。日本は彼らに300億円もの金をつぎこんでいます。もう日本より金持ちの中国人にもですよ、差別するつもりではなく、公平公正な税の使われ方、国際社会の立場を考える。

足立区政務活動事務所

090-4073-5145

せぬま 剛 後援会

足立区千住宮元町10-1



祝日には国旗を掲げよう

国旗販布・取付お申込みはせぬま 剛へ



足立の防災訓練

消防団主催

荒川河川敷での千住・足立・西新井・三暑の消防団は二十九団もあり、千名の団員が日夜訓練に励んでいる。消防操方の競技もあり、見事な腕前を皆が披露する。河川敷には各町会の役員も招待される。最近では、地震が起きた事を想定し、倒壊した、町並みを再現して被災現場に、次々と救助活動、消防活動を行う。消防団員と関係団体や、中学生の動員も行われている。本場での活躍が多いに期待されるところだ。

足立区主催

足立区、東京都、自衛隊合同による足立区全域の防災訓練も行われている。だが現場に緊迫感が無く、自衛隊のカラーライスは目的だけの人も多く見かける。足立区中の人々が避難するよう、危機感を持たさねば、折角の訓練がもったいなく見えるのだが。

辛いという字がある。もう少しで、幸せになれそうな字である。星野 富弘

町会の防災訓練

町会には互助・自助の訓練が求められている。各町会に防災防火の部があり、区民消防隊・レスキュー隊等を組織する町会もある。訓練は、区の起震車や煙発生装置や消火器の取扱い、救命手当の指導等を消防署や、防災士、関連団体のご協力で行っている。町の役員しか参加しない等の声もあるが、是非共、町会の方お一人でも多く参加して、顔なじみを作っておくことをお勧めします。ご近所が一番の頼りです。

地区防災

何町会を併せ、消防団の単位での訓練もあります。広い地域となり避難所への誘導から始まります。非常食の配布等を楽しみにしている人もいます。避難道路の確認をする。

スタンドパイプ消火栓確認

各町会に消火栓に直接取付け、消火するスタンドパイプが配置されています。消火栓の蓋を空ける器具も有ります。身近な所に、どこに消火栓があるか、確かめておきましょう。

Jアラート訓練

ミサイルが飛んで来た事を知らせるJアラートの放送は何度も失敗しています。ミサイルはその危険が知らされると、十分以内に着弾すると言われている。ありもしない事と笑っている人がおられます。有事とは、予測出来ないのです。防災の一環として、国民保護法は訓練を求めています。

避難場所訓練

私達は、地震・火災・有事の際に避難所に行きます。足立区内三十一ヶ所を指定しています。自身の判断が重要です。避難路の確認を日頃からして、慌てず逃げられるようにしましょう。

避難所の確認

足立区民私達は、地震・火災・水害有事の際は、避難場所から避難所、それぞれの地域で避難生活をする事となります。少しでも快適に暮らせるよう、行政も工夫しております。

日本のシェルター足立区は

世界中が有事に備えて、シェルターを設置していますが、日本は0に近く、足立区も一ヶ所ありません。国民保護法では、区民に安全なところに、逃げて下さいと言っています。



レッツゴー通信 せぬま 剛 友情に感謝

平成31年3月 日本っていいな！明治の心が生きる



人を愛し

人を利する者は

天かならずこれを福す

この世に存在する
他人（はた）を
利益を与えることである

来た時より美しく

サッカーの試合が終ると掃除をする観客達がいる。彼らは来た時よりもキレイにして帰るという。美談のようだが、何故彼らにそんな苦勞をさせるのだ。全員が自分のゴミは自分で持ち帰れ、自分のゴミは自分で処理しろと教わっていないのか、自分のゴミはどこに捨てようと自分の権利なのか。ちがう！自分で処理の義務だ。以前せぬまに電話が来た「公園のゴミ箱が一杯だ、カタズクロ、と言う」せぬまは言う「気づいてくれて有難うございます。宜しければ貴方様が処理してくださいませんか」相手は怒る「何を言ってるんだ、私は税金を払っているんだ、役所でやれ」とそうです、納税者の権利です。でも皆で少しずつ支え合うのが社会ではないでしょうか。全て権利が主張される世の中です。でも影で報われぬ苦勞をしている人がいるのです。善意に善意で答えない、そんな人が多勢になる世の中にと祈っています。

京都大学 明和政子講演会

江戸川で行われた明和先生の話を聞いてきた。彼らの研究は、この世に人間が存在してから脳の進化であるという。化学的な機械を使って、胎児の心を分析している、それによると胎児は母の声を聞いているし、手も色々な動作をしているという事実、何よりも、胎児に心があるということとだった。全ゆるものを取込もうとする脳が胎児にあり、これを出生後、自分の必要な情報へと取捨選択してゆくようだ。心を持つてる、胎児を無事出産へと妊婦を見守れる社会が必要だ。

足立の生命行政

足立区は妊婦の自殺防止の為の施策を行っている。出来るだけ関わりを持ち、悩みを聞く。これは予期せぬ妊娠や、望まぬ妊婦に特に重要である、経済的な悩みもある、これも聞いて制度の活用を教える、絶望で自殺を考えていた妊婦と救った例もある。妊娠から子育てまで、切れ目なくフォローするよう、せぬまは議会質問で強く求めている。型だけの組織でなく温かい対応が必要だ。

憲法 講演会

衛藤晟一総理補佐官

江東区深川で衛藤参議院議員による、憲法問題の講演会に応援弁士として、せぬまが参加してきた。足立区にも訪れた、衛藤先生の熱弁は変わることなく、憲法改正で日本の安全と平和を守ることにあると、人々に語りかける、真に日本の為、未来の為に、他国に侵略させない、法の整備をしなければ、日本は易々と共産独裁国家に犯されてしまう現状を、日本人皆知ろう！せぬまも同じ事を言う。

隣国韓国の逆走

日本から国家予算を超える援助金を受けとり、大発展した韓国が、当時日本国民として企業で労働した事に、強制だと訴え、韓国裁判所は日本企業に賠償金の支払いを命ずる判決を出しました。1965年の日韓協定は、「完全かつ最終的に解決された」と確認している。文政権が進める、反日政策を、国を挙げて行おうとしているのだ。

区民生活政務調査依頼 足立区政でお気付の事、町の中の事、学校のこと
せぬま 剛へご意見をどうぞ、足立区へ提案します

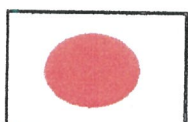
氏名 住所 ご記入の上

足立区政務活動調査事務所

090-4073-5145

せぬま 剛

足立区千住宮元町10-1



祝日には国旗を掲げよう

国旗販布・取付お申込はせぬま 剛へ

31年3月

父は戦地から帰国して無言

子供は日本悪い国と教えられ

皆に自虐史観が染みついた

戦後七十三年、もういいだろう

日本に誇りを取り戻そう

真実の歴史を知ろう。日本良い国

声高く国旗を掲げよう

ふるさと足立区民の会　せぬま　剛

百人一首に見る時代と日本人の国を思う心

せぬま 剛

一番歌	天智天皇	秋の田の	天皇も率先して働く国
二番歌	持統天皇	春過ぎて	天武天皇との夫婦愛 日本人の死生感
六番歌	大伴家持	カササギの	白村江の戦いに敗れた日本の守りを
十一番歌	参議皇	わたの原	不良外国人の来日多し、遣唐使廃止せよ
十二番歌	僧正遍正	天つ風	国が乱れるので遣唐使はもう止めよ
二十四番歌	菅原道真	このたびは	神々の思し召しのままに、遣唐使廃止する
四十九番歌	大中臣能宣朝臣	御垣守	国への感謝と恩返し、夜も徹して守り抜く
六十八番歌	三条院	心にも	藤原家の占横に心を痛める天皇
七十七番歌	崇徳院	瀬をはやみ	今は別れ別れにさせられた身内と再びひとつに
八十六番歌	西行法師	嘆けとて	保元の乱で武力の世となったが、悲しくて涙が止まらない
九十三番歌	源実朝	世の中は	実朝の努力で短い平和が来るが公暁に暗殺される
九十九番歌	後鳥羽院	人もをし	承久の乱で隠岐に流され、十九年六十才で没した
			世のためにさまざまな取り組みをしたが味気なく思える

昭和天皇が昭和六十三年八月十五日詠まれた御製この歌が御辞世となりました。

やすらげき世を祈りしもいまだならずくやしくもあるかきざしみゆれど

この歌を戦争で亡くなった英霊達に捧げました「安らかな世をずっと祈り続けたけれどそれはいまだなっていない、そのことが悔しい、きざしは見えているけど」

せぬま 剛

どんな時代に生きてても、その試練に耐え後世に託そう

せぬま 剛

八十四番歌 藤原清輔朝臣（七十九番 藤原顕輔の次男）

きよすけ

あきすけ

ながらへば またこの頃やし のばれむ 憂しと見し世ぞ 今は恋しき

才能豊かな父顕輔は大器晩成の子、清輔に試練を与え、清輔は大きく成長した。歌の「憂しと見し世」は厳しい試練の真っ只中を思い出し今は懐かしいと詠んでいます「ながらへば」人の世が長く続けば、清輔が生きた、乱れたこの世も、この時代のこと懐かしく思える日がきつと来る、と人の道は試練に立ち向かうことであると説いているのです。

八十五番歌 俊恵法師（七十四番 源俊頼朝臣の子 十七才で父と死別）

夜もすがら もの思ふころは 明けやらで ねやのひまさえ つれなかりけり

八十四番歌で「この乱れた時代も懐しく思える日が来る」と歌っていますが「明けやらぬ」と闇を思わせる文が入り、何やら不安を感じさせます、「明けやらぬ」いくら修行しても仏に近づけない、光明が見い出せないし「夜もすがら」ずっと悩み考えている、俊恵法師の姿が浮びますね、そして安定した時代はやって来ないので、藤原定家は壊れていく時代を象徴する歌として僧侶のこの歌を選んだのだとおもいます。

庶民は毎日を懸命に生きている、政事をする者、祈る者達は国柄を案じ行末に道筋を、国家安泰に、憂えつつ全力を尽す務めがある。

せぬま 剛